

■ (仮称)小川にぎわい広場

日常的な憩いと、イベント等によるにぎわいのある空間を目指して広場を整備します。



(仮称)小川にぎわい広場 素案 パース (上空からのイメージ)



(仮称)小川にぎわい広場 素案 パース (イベント時のイメージ)

中層部 (4～5階) 公共施設 (公益施設)

「本と多様な活動が重なり合う創造空間」をレイアウトコンセプトとした、新たな公共施設を整備します (近隣の西部市民センター等の機能がこちらに移転します)。



吹抜け部分 (5階から見下ろし) のイメージ



4階入口付近のイメージ

低層部 (1～3階) 商業施設



貫通通路側の商業施設のイメージ

再開発ビルについて

設計方針

地区の北側のおおよそ正方形の街区の広場1号 ((仮称)小川にぎわい広場)を除いた部分を敷地として、建物の機能や敷地内空地等を効果的・効率的に配置するとともに、地域の特性を踏まえた施設建築物を計画します。低層 (1～3階) 部分には、商業・業務施設を配置し、中層 (4～5階) 部分には公共施設 (公益施設) を配置して、多様な生活支援機能が複合する、多世代のにぎわい・交流空間を創出します。

高層部分は、周辺への景観に配慮したタワー形状の住宅を敷地の南東側に配置し、ファミリー向けの住戸を中心とした都市型住宅を整備し、新しい都市コミュニティの形成と多世代にわたる多様な交流を促進します。また、敷地北側に施設来客用の自走式駐車場及び住宅用のタワー型機械式駐車場を配置します。

■ 施設建築物の概要

敷地面積	約 5,045㎡	最高高さ	約 98 m (建築基準法上の高さ)
建築面積	約 3,529㎡	主要用途	住宅、店舗、業務、公益施設、駐車場等
延べ面積	約 40,300㎡	住宅戸数	219 戸
建ぺい率	約 70%	自転車駐車場	住宅用：438 台 施設用：274 台
容積率	約 548%	駐車場	住宅用：111 台 (うち機械式立体100台) 施設用：63 台
規模	地上 27 階・地下 1 階		
構造	RC造・一部S造		

